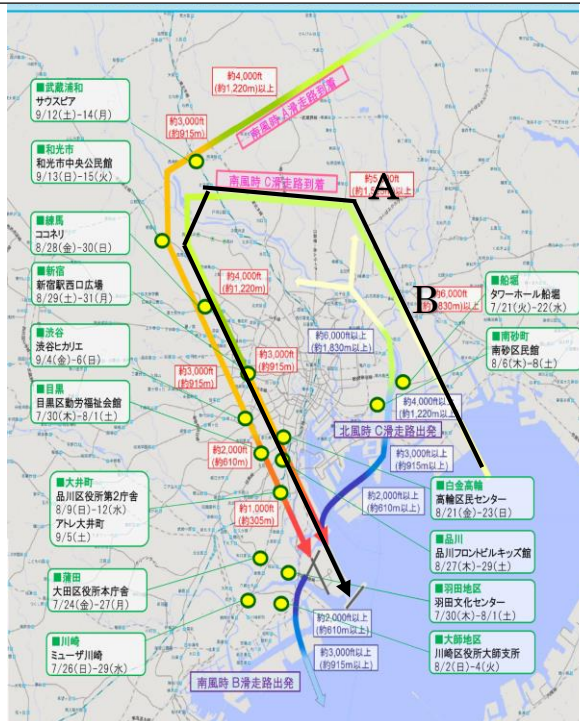


航空機騒音

羽田空港増便でどうなる!?

浦安市「本市の騒音軽減に向け取り組む」

新たな飛行経路案



南風時C滑走路到着

- 南風運用の割合
運用全体の約4割(年間平均)
- 南風時新経路の運用時間帯
15:00~19:00(切替時間を含む)

《飛行高度》

- A地点:約5000ft(約1,525m)以上
- B地点:約6000ft(約1,830m)以上

日の出地先上空を飛行

日本共産党は「南風時の着陸時に浦安市上空を飛行する経路になっている。市民の不安は大きく騒音問題は避けられない。」と質問。

**騒音影響
明確になっていない!**

産党の質問に対して、都市環境部長は「南風運用時の午後3時から7時までの4時間に限り、1時間31機の着陸機が、日の出地先上空を通過する経路となっている」と答え、直接的な評価を避けた上で「新ルート案はこれまで千葉に集中している羽田空港の航空機騒音問題を首都圏全体で共有化するように求めていたものにはなっているが、引き続き、本市の騒音軽減に向け、取り組んでいく」ことを約束しました。

国が示した東京都心を飛行する「新たな飛行経路案」を本市はどう受け止めているのか」という日本共

1時間1着陸時 南風1着陸時 31機飛行

2020年の東京五輪までに羽田空港の発着枠を1割増やす方針が国交省から示されています。この方針に従って増便されれば、本市上空を飛行する離陸機がさらに増え、騒音がこれまで以上に増大することになります。浦安市はこの問題に今後どのように対応するのか、日本共産党は9月議会一般質問で市の姿勢を質しました。



都市環境部長は「千葉県、および本市には新ルート案の具体的な運用方法などは示されておらず、本市への騒音影響は明確になっていない」ことを明らかにしました。また、今後の対応について、千葉県な

週刊

日本共産党
市議会報告

2015年11月16日

第1348号

【発行】

日本共産党
浦安市議団
☎ & F A X
350-1243



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎ 355-8526
minamotonton@jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢 麻里

北栄 2-3-16-203
☎ 354-9269
m5mise@jcom.home.ne.jp

日本共産党

羽田
飛行経路

国交省に関係地方議員が要請
市街地上空見直しを

羽田空港の離着陸便の増便によって、東京都の市街地の上空が飛行経路になる問題について7月17日、日本共産党の国会議員、都議、関連地域の議員(浦安市議団からは元木美奈子議員が参加)、住民らが国土交通省航空局の担当者から説明を聞き、危険な経路の見直しを求めました。

小池晃参院議員は「『羽田空港は東京湾を活用する』という大原則を変えるのは安全性や騒音の面で許されない」と主張。飛行経路の見直しを求めました。



11月13日、日本共産党千葉県委員会と国会議員団南関東ブロック千葉県事務所が来年度予算に関する要望交渉を行い、羽田空港増便にともなう航空機騒音被害問題については、①飛行ルートの変更も含めて対策を講じること、②飛行ルート下の住民に説明会を実施すること、③米軍横田基地に係る空域の解除に努力し、横田空域への乗り入れを拡大し、千葉県内の騒音を軽減することなどを要望しました。

航空局環境・地域振興課の課長補佐は「まずは必要性について理解いただくよう説明しているところ」「来年の夏までに環境影響の方策を講じる」などと答え、要望に対する回答を頑なに避け

る結果になりました。

浦安市議団からは元木美奈子議員が参加し「住民に対して早急に説明する」よう求めました。畑野君江衆院議員、浅野ふみ子参院予定候補も同席しました。

市民への情報提供を速やかに
日本共産党は、市民の不安に答えるために、できるだけ速やかにHPなども活用して情報提供を行うよう市に求め

増え続ける
本市上空の飛行
羽田空港D滑走路の供用開始からまもなく5年が経過し、この間、発着回数は、供用開始前の30万3000回から平成26年度には4万7000回にも増えました。現在は、南風の悪天候時に

D滑走路に着陸する飛行機が、日の出地先を通過するルートとなつていますが、天候不順の影響によって、日の出地先を通る便数は、平成23年度は1727機、26年度には3485機へと増大しました。離陸機も基本的には本市上空を通るルートは設定されていないにもかかわらず、墓地公園上空にかかる飛行も確認されています。